

上下水道事業経営ビジョンにおける主要施策の取組状況と評価

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	これまでの取組状況 (H29～H30)	評価	これまでの取組や今後の進め方に対するご意見	ご意見に対する企業局の考え方
1 暮らしを支える 上下水道	(1) 安心できる 水の確保 (P45)	① 水源域の 適切な保全	森林整備(整備面積15.6ha/2年)を実施したほか、水資源保全地域における土地利用状況の把握に努めるなど、水源域の保全に向けた取組を進めました。	B		
	(2) 安定取水の 確保 (P45)	① 新規水源整備	尾札部浄水場において、将来の水需要を見据えた必要水量についての検討を進めたほか、揚水量調査を実施するなど、安定取水の確保に向けた取組を進めました。	B		
	(3) 安全な水の 供給 (P46)	① 水質管理体制 の充実	水質検査機器の更新や、国や道が実施する外部精度管理への参加など、検査精度の向上に向けた取組を進めました。	B	函館に来るたびに、水道水をわざわざ水筒に入れて持ち帰る友人がいます。品質に自信を持って、ボトル販売を積極的に進めてみてはいかがでしょうか。	ペットボトル水は、水道創設130周年記念事業として、全国会議参加者や水道施設見学者等に配布するため、今年度限定で作成したところです。ペットボトル水の販売につきましては、販売するための課題などについて、今後調査研究を行ってまいりたいと考えております。
		② 浄水場ろ過設備 の整備	令和元年度以降に施策の実施を予定しています。	-	函館の上水道料金が全国的にも安価で、かつ水道の質が高いことに市民として心から感謝しています。全体的にいえることですが、水道の消毒のために使用される塩素濃度がとても気になることがあり、飲み水をボトルで購入しています。豊かで安全な水の供給のためには、いたしかたないこともあると思いますが、残念に思うこともあり、子供の時どこよりも美味しい水と思っていたのに、わざわざお金を出して、さほど美味しいとも思えない水を買って飲んでみると、違和感を感じる場合があります。	水道水の塩素濃度につきましては、水道法の基準に基づいたものとなっており、塩素濃度は時間の経過とともに低下するため、浄水場からの距離等によっても変化していることから、飲む場所等によっては、塩素濃度が異なることがあります。企業局では、これまでも安全でおいしい水の供給に努めてまいりましたが、今後も同様に取り組んでまいりたいと考えております。
	(4) 水道施設 機能の保全 (P47)	① 老朽施設の 計画的な更新 と施設規模の 適正化	老朽配水管を更新(φ100～350mm L=3,900m/2年)したほか、将来の水需要を見据え浄水能力を見直すなど、老朽施設の更新と施設規模の適正化を進めました。	B		
		② 配水池容量の 確保	赤川系の供給区域に対する安定供給について、配水管の増強を含め検討を開始しました。	B		
(5) 適切な給水 装置管理の 促進 (P49)	① 指定給水 工事事業者 との連携	事業者向け広報紙の発行や説明会の開催などで情報提供を行い、指定給水工事事業者との連携強化を図りました。	B			
	② 貯水槽水道 の適切な管理	企業局だよりによる利用者への情報提供や、事業者向け説明会での情報提供などにより、貯水槽の適切な管理の推進や直結給水方式の普及促進に努めました。	B			

上下水道事業経営ビジョンにおける主要施策の取組状況と評価

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	これまでの取組状況 (H29～H30)	評価	これまでの取組や今後の進め方に対するご意見	ご意見に対する企業局の考え方
1 暮らしを支える 上下水道	(6) 下水道の 普及促進 (P50)	① 汚水管の整備	下水道未普及地区において汚水管の整備を進め、下水道の処理区域を拡大しました。(φ100～200mm L=2,570m/2年)	B		
		② 水洗化の普及促進	下水道処理区域に編入された家屋への戸別訪問や、未水洗家屋への水洗化要請文の送付など、水洗化の普及促進に向けた取組を進めました。	B		
	(7) 下水道 施設機能の 保全 (P51)	① 老朽施設の計画的な更新と施設規模の適正化	老朽管渠を更新(φ200～1650mm L=5,314m/2年)したほか、南部下水終末処理場の設備を適正規模で更新するなど、老朽施設の更新と施設規模の適正化を進めました。	B		
		② 不明水対策の推進	不明水の原因となる樹の修繕やマンホール蓋の更新を実施するなど、不明水対策の取組を進めました。	B		
	(8) 公共用水域の水質保全 (P52)	① 放流水質の適正管理	南部下水終末処理場の水質検査機器を更新するとともに、雨水貯留管を適切に運用したほか、事業場排水に対する水質指導、監視を実施するなど、放流水質の適正管理に努めました。	B	街の置かれた環境が、汚染が集積しづらい地形であることが幸いしている面が多々あります。それに甘えて良いものでしょうか。	企業局では、放流水の水質改善を目的として、これまで雨水貯留管の設置等、様々な取組をしております。南部下水終末処理場における放流水の水質は、全項目において大きく基準を下回っており、今後も、引き続き公共用水域の水質保全に努めてまいりたいと考えております。
(9) 温泉の安定供給 (P53)	① 温泉供給設備の計画的な更新と供給量の適切な管理	温泉供給設備の更新(供給本管 L=1,096m/2年、揚湯ポンプ4基/2年)を実施したほか、温泉水位などの観測や利用者に対して供給量の縮減を要請するなど、温泉の安定供給に向けた取組を進めました。	B			
2 災害に強い 上下水道	(1) 地震対策の推進 (P54)	① 水道施設の耐震化	老朽配水管の更新に併せて耐震化を実施しました。(耐震化延長3,900m/2年)	B		
		② 下水道施設の耐震化	老朽管渠の更新に併せて耐震化を実施しました。(耐震化延長2,402m/2年)	B		

上下水道事業経営ビジョンにおける主要施策の取組状況と評価

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	これまでの取組状況 (H29～H30)	評価	これまでの取組や今後の進め方に対するご意見	ご意見に対する企業局の考え方
2 災害に強い 上下水道	(2) 浸水対策の 推進 (P56)	① 雨水管の整備	日吉町4丁目や昭和町などで雨水管を整備しました。(φ250～1200mm L=1,606m/2年)	B		
		② 雨水流出抑制対策の強化	大規模な土地利用を計画している事業者に対して、雨水処理についての助言・指導を実施しました。(26件 計1,677m ³ /hの流出抑制効果/2年)	B		
	(3) 災害対応力の 向上 (P57)	① 災害対策マニュアルと訓練の充実化	上下水道事業のBCPに基づく訓練を実施するとともに、BCPの内容を見直し充実化を図りました。	B		
		② 公民連携の推進	民間事業者との合同訓練の実施や大雨時における浸水防止体制の強化を図ったほか、民間事業者と連携して給水拠点を整備するなど、公民連携の取組を進めました。	A	断水は、それ自体が大災害です。給水施設・設備の耐震化、耐震性の強い配水管の普及など、課題は山積のようです。	
	③ 広域連携の推進	日本水道協会が主催する訓練へ参加したほか、北海道下水道災害時維持修繕協定の締結や、被災地への災害派遣など、広域連携の取組を進めました。	B	災害が全国的に多い昨今、日ごろからの準備が重要と思います。また、短期間でできることはないので、毎年少しずつでも整備して頂いていることに安心いたします。		
	④ 災害時資器材の確保	災害時非常食や災害時資器材を充実させるなど、災害時に必要な資器材の確保に向けた取組を進めました。	B		上下水道施設につきましては、経過年数や老朽度により優先順位を考慮し、計画的に更新を行っているほか、断水時の給水体制に関わる備蓄品の調達を進めております。今後も更新に併せて耐震化を進めるとともに、訓練等に参加しながら、必要な備蓄品の充実を図りたいと考えております。	

上下水道事業経営ビジョンにおける主要施策の取組状況と評価

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	これまでの取組状況 (H29～H30)	評価	これまでの取組や今後の進め方に対するご意見	ご意見に対する企業局の考え方
3 信頼される事業運営	(1) 健全な事業経営の推進 (P58)	① 適正な料金体系の検討	将来の水需要の減少を見据え、料金体系に関する調査を実施したほか、賦課データを基にした実態把握調査を実施するなど、適正な料金体制の検討を進めました。	B	民間活力は、役所が期待するより無責任なものです。DBO方式も結構ですが、しっかりした役所側の監視・管理をお願いします。	「上下水道事業経営ビジョン」において、水道事業は公営による運営のもと、民間活力を積極的に活用する計画としていくところであります。 このようななかで、DBO方式で実施している、赤川高区浄水場プラント設備更新整備事業の設計、施工、維持管理業務につきましても、適宜検証を行い改善を図るなど、PDCAサイクルにより、監視・管理を確実に行ってまいります。 今後も、経営ビジョンに基づき、健全経営のもとで、安全で快適な市民生活に貢献するとともに、将来にわたって安心して水道を利用していただけるように、各種施策を進めてまいりたいと考えております。 なお、企業局では、これまでも運転管理業務委託等において、民間活力の導入により、災害対応力の向上が図られております。
		② 収納率の向上	停水対応が困難な滞納者に対する取組を強化したほか、口座振替払新規加入キャンペーンを実施(推計増加人数1,500人/2年)するなど、収納率の向上に向けた取組を進めました。	B		
		③ コスト縮減の取組の推進	赤川高区浄水場プラント設備更新整備事業に係る民間活力の導入に向けた検討を進め、DBO方式で事業契約を締結しました。	B		
		④ アセットマネジメントに基づく投資財政計画の策定	公共下水道事業のストックマネジメント計画を策定し、アセットマネジメント導入に向けた取組を進めました。	B		
		⑤ 人材育成の推進	各種マニュアルの整備や職員研修の実施、外部団体主催研修への参加などにより、職員の能力開発に努めたほか、全国規模の会議において研究発表を行うなど、人材の育成に努めました。	B		

上下水道事業経営ビジョンにおける主要施策の取組状況と評価

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	これまでの取組状況 (H29～H30)	評価	これまでの取組や今後の進め方に対するご意見	ご意見に対する企業局の考え方
3 信頼される事業運営	(2) 効率的な組織づくり (P59)	① 効率的な組織体制の構築	業務の委託範囲の拡大に伴う組織機構の見直しを図ったほか、各課の業務分析や新たな業務へ対応するため課長を配置するなど、効率的な組織体制の構築に努めました。	B		
		② 公民連携の推進による効率的な事業の運営	南部下水終末処理場の業務委託内容を拡大したほか、運転管理業務に係る民間事業者に対する技術指導や合同訓練を実施するなど、公民連携の推進による効率的な事業運営に向けた取組を進めました。	B		
	(3) 透明性の高い事業運営 (P60)	① 情報提供の充実	企業局だよりの発行やラジオ、市電公告による情報提供を実施したほか、マンホールカードを配付(10,900枚/2年)するなど、情報提供の充実化を図りました。	B		
		② 利用者とのコミュニケーションの促進	小学生向けに上下水道施設見学会を開催したほか、経営懇話会を開催し意見を求めるなど、利用者とのコミュニケーションを促進し、市民ニーズを事業運営に反映させる取組を進めました。	B		
4 環境対策の推進	(1) 環境負荷の低減 (P61)	① 省エネルギー対策の推進	浄水場などの施設照明のLED化や、南部下水終末処理場における省エネルギー型設備の導入によりCO2排出量を削減しました。(削減効果181t/2年)	B	本町杉並町界隈の最初に下水道を布設した【合流式】の管路を分離しない限り根本的な解決にはなりません。将来の方向性だけでも検討いただけないものでしょうか。	企業局では、合流式下水道からの放流水質を分流式下水道と同程度に改善することを目的として、合流式下水道緊急改善事業を実施し、分流式下水道並の水質が確保されていることを確認しております。今後も、施設を適切に維持管理し、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全に努めてまいります。
	② 資源の有効活用の推進	小水力発電設備による安定した発電(3,220千kWh/2年)を行ったほか、南部下水終末処理場で発生する消化ガスについては発電やボイラーの燃料として有効活用するなど、資源の有効活用に向けた取組を進めました。	B	災害や上記と重なることですが、循環できる環境対策、全部ではなく一部でもと思います。		

A : 完了した・計画を上回っている

B : 概ね計画どおりに進んでいる

C : 計画を下回っている

D : 著しく計画を下回っている

— : 評価なし